

## 保健体育科学習指導案

平成28年2月10日(水) 1校時

第1学年 1・2組 男子 35名

指導者 教諭 針生 智博

### 1 単元名 「球技 (バスケットボール)」

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領「E 球技(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームができるようにする。1 技能 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。2 態度 (2) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする事、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。3 知識、思考・判断 (3) 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。」に該当する。

球技は、ボールを媒体として、集団対集団・個人対個人で攻防を展開し得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や個々の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。バスケットボールは、2つのチームがコート内で攻撃と防御に分かれ、パス・ドリブル・シュートなどの個人的技能や集団的スキルを發揮し、一定時間の内で得点を競い合う競技である。一人一人の生徒がゲームに参加、貢献していると実感でき、みんなの力が結集され勝利を手にすることができたときの喜びが、魅力でもある。筋力・持久力・調整力をはじめ、多くの運動要素を含んでおり、体力を向上させるものである。また、生徒同士で課題を指摘し合ったり、技能の向上に向けて教え合ったりすることにより、生徒相互の信頼関係を育むことができ、これからの「生涯に渡る豊かなスポーツライフの実現」に向けての礎となるものである。さらに、ルールやマナーの順守や、勝敗に対する公正な態度などは社会生活における望ましい態度や行動にもつながり、人間形成に役立つ学習にもなると考えられる題材である。

#### (2) 生徒観

1組17名、2組18名、計35名の在籍である。授業への取り組みは、幼稚な面も見えるが、全体的には明るく、楽しみながら授業に取り組もうとする雰囲気がある生徒たちである。これまでの運動技能の獲得や運動能力にはやや個人差が見られ、運動能力テストの結果からも総合判定においてA判定を獲得した者もいれば、E判定だった生徒もおり幅広い。それゆえに、身体的・体力的な面で配慮が必要な生徒もいる。

事前に行ったアンケート結果は次の通りである。

＜アンケート調査数32名、欠席3名＞

質問事項	調査結果
1. 運動することは好きですか。	はい 【25名】
	いいえ 【7名】
2. 体育の授業は好きですか。	はい 【28名】
	いいえ 【4名】

3. 運動種目の中で好きなものはどれですか。  *複数回答あり	陸上競技全般 【 6名】
	水泳競技全般 【 3名】
	器械体操 【 2名】
	球技全般 【26名】
	武道全般 【 2名】
4. バasketボールの授業は好きですか。	はい 【23名】 いいえ 【 9名】
5. 質問4でのBasketボールの好きな理由。	・得点した時に、自分が関わっていたらうれしい。 ・仲間とパスをつなげるのが楽しいから。 ・フェイントをしてかわすのが好き。 ・積極的にプレーできる機会が多いから。
質問4でのBasketボールの嫌いな理由。	・ドリブルがうまくできないから。 ・球技全般が不得意だから。 ・パスがうまく出せないから。 ・運動が得意ではなく、周囲に迷惑をかけるから。 ・突き指が多いから。
6. Basketballで苦手になっているプレーは何ですか。	・シュート・ドリブル・パス回し・1対1の攻防
7. Basketballの授業でどんなプレーを上手になりたいですか。	・レイアップシュート・ドリブル・3Pシュート ・味方との連携・ディフェンス力を高めたい ・チームプレー・ゴール下でのシュート
8. 積極的にBasketボールの授業に参加できますか。	はい 【32名】 いいえ 【 0名】

アンケート結果から、運動への抵抗感を示す生徒は7名いた。さらにBasketボールの単元においては、9名の生徒が「嫌い」という意識をもっていた。理由としては、Basketボールに限らず球技全般に苦手意識をもっている生徒もいたが、ドリブルやパス技能などの個人技能を上手く修得できないまま単元を終えてしまったことを、「嫌い」というように捉えている生徒もいた。また、自分のミスが原因でチームメイトの足を引っ張っていることに、罪悪感を感じ、プレーを楽しむことができずにいる生徒もいることがわかった。

本校の生徒は、複数の中学校から進学してきており、Basketボールへの取り組み方や意識も様々であった。そのため、チームスポーツへの精神的な不安をできるだけ取り除きながら個人技能を高め、集団技能の向上へと結び付けたい。そのためには、学習方法を工夫し、お互いを認め合える活動を取り入れ、生徒個々の意欲の向上を図りたい。

### (3) 指導観

生徒の意欲を大切に、一人一人が自己の目標を明確にもち、課題の達成ができるように指導していきたい。そのためには、イメージをもちにくく理解しづらい動きを示範することで支援していきたい。

また、お互いのつまずきを教え合い、協力し合いながら額数させる学び合いの場を設定したいと考える。そこで、学習カードを用いて自己の目標や技能を確かめさせたり、仲間へのアドバイスを考えさせ、互いに学び合い、認め合いながら学習させていきたい。また、安全に留意し、事故防止の心得や練習をする上でのルールを守らせるなど、協力する態度や安全な行動の仕方を身に付けさせるとともに、試合の運営を自分たち計画的に行えるように支援していきたい。

### 3 指導目標

観 点	目 標 (評価規準)
関心・意欲・態度	バスケットボールの楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	生涯にわたってバスケットボールを楽しみ、実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
技能	バスケットボールの特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。
知識・理解	バスケットボールの技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。

### 4 指導と評価の計画 (15時間扱い)

時間	学 習 活 動	評 価 規 準	評 価 方 法	①	②	③	④
1	オリエンテーション	・バスケットボールに関心をもつとともに、学習を主体的に取り組もうとしている。	行動観察 学習カード	○			
2	スキルチェック 試しのゲーム	・健康・安全を確保している。 ・パスやボールコントロールなどの基本的技能を身に付けた動きができる。	行動観察 学習カード	○		○	
3 } 6	基本技能の練習① ・ドリブル ・パスアンドキャッチ ・シュート	・健康・安全を確保している。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・正確なシュートフォームを身に付けている。 ・練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。	行動観察 学習カード	○	○	○	
7 } 10	基本技能の練習② ・2対1 ・3対2 ・フォーメーション	・自分やチームの特徴を踏まえた練習方法を選んでいる。 ・パスやボールコントロールなどの基本的技能を身に付けた動きができる。	行動観察 学習カード		○	○	
11 } 14	リーグ戦 ・5対5の攻防 ・ルール確認 ・試合の運営	・プレイやジャッジに対して公正な態度を大切にしている。 ・空間を作り出す動きができる。 ・バスケットボールの技術の	行動観察 学習カード	○		○	○

		名称や行い方について具体例を挙げることができる。					
15	スキルテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスやボールコントロールなどの基本的技能を身に付けた動きができる。</li> <li>・正確なシュートフォームを身に付けている。</li> <li>・バスケットボールに関連した体力の高め方について具体例を挙げることができる。</li> </ul>	行動観察 技術テスト			○	○

※ ①関心・意欲・態度      ②思考・判断      ③技能      ④知識・理解

## 5 評価基準

	A 大変満足できる	B 満足できる	C 努力を要する (手立て)
関心 ・ 意欲 ・ 態度	<p>①練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。</p> <p>②バスケットボールの集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを自ら進んで味わおうとする。</p> <p>③審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。</p>	<p>①練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に注意しようとする。</p> <p>②バスケットボールの集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを味わおうとする。</p> <p>③審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。</p>	<p>①練習やゲームの場所の安全を確かめ、健康・安全に注意しようとする。</p> <p>②バスケットボールの集団的な技能に着目して、勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを味わおうとする。</p> <p>③審判の判定や指示に従おうとしている。</p>
思考 ・ 判断	<p>①練習やゲームから、チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。</p> <p>②発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。</p>	<p>①練習やゲームから、自分や自分の課題を設定している。</p> <p>②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見つけている。</p>	<p>①練習やゲームから自分の課題を設定している。</p> <p>②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見つけている。</p>
技能	<p>①パスなどの基本的技能で、攻撃につながるようにボールをコントロールしている。</p> <p>②常に正確なシュートフォームで精度の高いシュートを決めている。</p> <p>③練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、チャンスを生み出す動きをタイミングよくできる。</p>	<p>①パスなどの基本的な技能でボールをコントロールしている。</p> <p>②正確なシュートフォームでシュートを決めている。</p> <p>③練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。</p>	<p>①不安定な体勢ながらも、ボールをコントロールしている。</p> <p>②自分なりのシュートフォームでシュートを打つことができる。</p> <p>③教師や仲間の助言を受けて、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。</p>

知識・理解	<p>①バスケットボールに必要な体力の高め方を具体例を挙げて説明することができる。</p> <p>②バスケットボールの技術の名称や行い方について、具体例を挙げて説明している。</p>	<p>①バスケットボールに必要な体力の高め方を具体例を挙げて示すことができる。</p> <p>②バスケットボールの技術の名称や行い方について、具体例を挙げている。</p>	<p>①バスケットボールに必要な体力の高め方を理解している。</p> <p>②バスケットボールの技術の名称や行い方について知っている。</p>
-------	---	---	---

## 6 本時指導計画

(1) 球技 バスケットボール (本時5 / 15)

(2) 指導目標と評価規準

### 指導目標

バスケットボールの基本動作であるパス回しの動きを、「パス回し鬼ごっこ」という遊びを通して、パスを出す方だけではなく、パスを受ける“受け手”の動き、つまり位置取りであったり、パスを受けるための準備であったり、パスを出す側とのタイミングなどが重要であることに気付かせたい。

評 価 規 準			
関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
健康・安全を確保している。		練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。	

(3) 本時の指導にあたって

本時の学習では、前時までの学習を生かしながらのボール遊びを通して、シュートの精度を上げたり、パスをする側、受ける側の動き方を考えさせたい。

(4) 準備物

(教師側) ・バスケットボール ・タイマー ・ビブス ・マーカー  
(生徒側) ・筆記用具 ・学習カード

(5) 指導過程

別紙1

(6) 資料

別紙2 (学習カード)

別紙3 (チームカード)

### 参考文献

- ・高等学校学習指導要領 <文部科学省>
- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校 保健体育)」
- ・「第2編 保健体育における評価規準の作成、評価方法等の工夫改善」  
<国立教育政策研究所・教育課程研究センター>

(5) 指導過程

段階 (時間)	生徒の学習活動	教師の支援 (■Cへの手立て)	評価規準 (方法) (□Aへの状況)
導入 15分	1 ウォームアップ ①ランニング ②体操・ストレッチ ③ボールハンドリングなど ④アラウンド  2 シュートドリル (4カ所) ・レイアップシュート① ・レイアップシュート② ・ジャンプシュート ・ゴール下シュート  3 整列・挨拶・健康観察  4 本時の学習内容の確認  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">パス回しの秘訣とは？</div>	○班ごとに取り組みせ、集団行動の状況、授業への意欲などを観察する。  ○4カ所を2分ごとにローテーションさせ、正確なシュートフォームを体得させる。また、リバウンドを意識させる。 <b>■</b> 達成の難しい生徒には、アドバイスをしながら、動き方の確認を行う。 ○顔色を見ながら観察する。  ○本時の活動の流れを説明し、目標を提示する。	・健康・安全を確保している。 (観察)  ・健康・安全を確保している。 (観察)
展開 30分	5 スクウェアーパス  6 パス回し鬼ごっこ  7 3対2のゲーム	○2カ所に分かれ、行わせる。  ○簡易的なルールだけを説明し、取り組ませる。その中で、パス回しの秘訣を各グループごとに考えさせ行わせる。 <b>■</b> 達成が難しい時には、段階的な指示を加えながら取り組ませ気付かせる。  ○パスを受けるまでの動き方を意識させながらシュートまで行わせ、より実践的な練習を行わせる。	・健康・安全を確保している。 (観察) ・練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。(観察)  ・練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きができる。(観察) □練習やゲームで、パスを受ける動き、フリーになる動き、チャンスを生み出す動きをタイミングよくできる。
終結 5分	8 学習カードの記入  9 本時の反省  10 挨拶・解散	○本時の学習の成果を記入させる。  ○本時の学習内容において気付いた点や仲間へのアドバイスを行わせる。 ○元気よく挨拶させる。	